※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　国語科

科目	国語演習	単位数	４	必要Ｓ出席数	４
使用教科書	なし				
副教材等	クリアカラー国語便覧　（数研出版）				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	１２通	2	2	2
スクーリング	１６回	6	5	5
テスト	３回	○	○	○
課題・実習等	対象:試験 40 点未満	再試験	再試験	再試験

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・新課程生（Ｒ４年度以降入学生）・旧課程生どちらも受講できます。
・奈良時代から近現代までの幅広い作品を多角的に講読・鑑賞します。また、「漢字」「慣用的表現」についても理解を深めてゆきます。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
・幅広い文学作品を多角的に講読･鑑賞し、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、日本文学に対する理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の言語文化の歴史、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	文学作品を通して表現された思想や感情を適切に読み取り、生活や人生について考え、文学作品に親しむ。	学習書・副読本を用いて自学自習に取り組むとともに、言語文化や伝統に対する関心を深め、文学作品に親しもうとする。

● 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
● 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	①古文常識 ②上代の文学 ③中古の文学 ④対義語・四字熟語	a:文学史の流れや文学作品などについて理解し、知識を身につけている 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている b[　読　]:副教材や資料を参考にして作品を読み取り、作品や作者、日本の文化などについて考えることができる c:副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出しようとしている 作品や作者、日本の文化などについて考えようとしている	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング
2	①中世の文学 ②近世の文学 ③三字熟語 四字熟語	a:文学史の流れや文学作品などについて理解し、知識を身につけている 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている b[　読　]:副教材や資料を参考にして作品を読み取り、作品や作者、日本の文化などについて考えることができる c:副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出しようとしている 作品や作者、日本の文化などについて考えようとしている	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング
3	①近現代の文学 ②漢字の読みと意味 ③ことわざ・慣用句 ④一年間の学習のまとめ	a:文学史の流れや文学作品などについて理解し、知識を身につけている 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている b[　読　]:副教材や資料を参考にして作品を読み取り、作品や作者、日本の文化などについて考えることができる c:副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出しようとしている 作品や作者、日本の文化などについて考えようとしている	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度